

実施による工夫と得られる効果一覧

■実施による工夫

- ①通常総会開催時やその後の年頭の段階において、各会員にて年間のスケジュール管理を行っていただく旨の依頼をする。
- ②スライドの確認は部分的に省略せずに実際の流れを把握するため全て通しで確認する。
- ③写真撮影時には予め、立ち位置の並びを決めておき、着装の確認を促すアナウンスを入れる。

■得られた効果

- ①年頭のアナウンスだけではなく、日頃から委員長の連絡網を活用し、出欠状況の小まめな確認を行い、委任状においても締め切り前からの未提出者に対するアナウンスを続けたことによって、総会は委任状 8 名による開催となり、全会員の出席として開催することができた。
- ②全体の流れを事前に理解することで、進行ミスやトラブルを防ぎ、スムーズな例会運営が可能となり、当日の担当者と入念な前打ち合わせと本番のリハーサルを通して滞り無い進行を実現できた。
- ③前年度の写真を用意し、どの役のメンバーがどこに並んでいるのかを基本的な参考資料と参考としつつ、「並ばせる係」「写真撮影の係」を明確に役割として用意することで、混乱のない写真撮影となった。